

フィードバック収集 SaaS

フィードバックを、 開発の推進力に。

製品ガイド & 操作マニュアル

PRODUCT GUIDE & USER MANUAL

プロジェクト

アーカイブを表示

新規プロジェクト

コーポレートサイトリニューアル

自社コーポレートサイトの全面リニューアル。デザイン・実装フェーズの不具合とご…

AI処理: 自動

アーカイブ

ECサイト改善プロジェクト

オンラインストアのカート・決済導線の改善。お客様からの不具合報告を集約します。

AI処理: 自動

アーカイブ

採用ランディングページ制作

新卒採用LPの制作。社内レビューのフィードバックを管理します。

AI処理: 手動

アーカイブ

スマートフォンアプリ β版

iOS/Android アプリのクローズドβ。テスターからの不具合・要望を収集します。

AI処理: オフ

アーカイブ

目次

- [製品紹介](#)
- [本マニュアルについて](#)
- [第1章 ログイン](#)
- [第2章 ホーム](#)
- [第3章 プロジェクト管理](#)
- [第4章 メンバー管理](#)
- [第5章 アカウントの新規登録](#)
- [付録：権限による違い](#)

製品紹介

FeedPort とは

FeedPort は、Webサイトやアプリの開発・運用で発生する「フィードバック」を、ワンクリックで集めて活かすためのクラウドサービス（SaaS）です。専用の **Chrome 拡張** から、スクリーンショット・画面録画・コンソールエラーなどを撮って投稿でき、**AI が再現手順を自動で要約** します。集まったフィードバックは**プロジェクト単位**で整理され、**GitHub / Jira / Backlog**へそのまま連携できます。制作会社・開発チーム・社内システム運用など、「報告のやりとりが煩雑」「不具合の再現に時間がかかる」現場の課題を解消します。

主な特長

特長	概要
Chrome拡張からの投稿	画面を見たまま、スクリーンショット・画面録画・エラー情報をワンクリックで投稿
AIによる再現手順の要約	投稿内容から、AIが操作手順・発生状況を自動で整理・要約
プロジェクト管理	フィードバックをプロジェクト単位で集約。ステータスやAI処理モードを管理
組織・メンバー管理	組織にメンバーを招待し、役割（権限）を割り当て
外部連携	GitHub / Jira / Backlog へ連携し、課題化までをスムーズに
権限管理（RBAC）	所有者／管理者／メンバー／クライアントの4権限で操作範囲を制御
マルチテナント	組織（テナント）単位でデータを分離
クレジット管理	プランごとの月間クレジットを、プール／個別配分などのモードで管理

技術スタック

区分	採用技術
バックエンド	Ruby on Rails 8.0 (API) / PostgreSQL 16 / Redis / Sidekiq
フロントエンド	Next.js 15 (React 19 · TypeScript) / Tailwind CSS / Zustand
ブラウザ拡張	Chrome Extension (Manifest V3)
認証・認可	JWT (has_secure_password) / RBAC (Pundit)
AI・連携	OpenAI API (再現手順の要約) / GitHub · Jira · Backlog 連携
ストレージ・決済	S3 互換オブジェクトストレージ (録画 · 画像) / Stripe
インフラ	AWS (EC2/RDS/ElastiCache/S3) または Docker による自社運用

料金・コスト例 (参考)

⚠️ 下記の金額はすべて **参考例 (モデルケース・税別)** です。実際の費用は規模・構成・サポート範囲により異なります。導入実績や利用料を示すものではありません。

プラン例

プラン	月額 (例)	想定規模
Free	¥0	個人・お試し (月間50クレジット)
Starter	¥4,800~	小規模チーム (月間500クレジット)
Team	¥19,800~	制作会社・開発チーム (月間2,000クレジット)
Business	個別見積	大規模・SSO・API連携 (月間10,000クレジット~)

ランニングコスト例 (自社ホスティング時のクラウド概算)

項目	構成例	月額概算
アプリサーバー	AWS EC2 t3.small x 1	約 ¥3,000
データベース	RDS PostgreSQL db.t3.micro	約 ¥3,000
キャッシュ/ジョブ	ElastiCache (または同居 Redis)	約 ¥1,500
ストレージ・転送	S3 (録画・画像) + 通信量	約 ¥1,500
AI 要約	OpenAI API 従量	約 ¥2,000~
合計		約 ¥11,000/月~

※ クラウドの従量課金のため、投稿数・録画量・AI 利用量により増減します。

導入費用例 (初期費用)

項目	内容	費用 (例)
初期セットアップ	組織作成・初期設定・拡張機能の配布設定	¥100,000~
連携設定支援	GitHub / Jira / Backlog 連携の初期設定	¥50,000~
オンボーディング	管理者・メンバー向け操作トレーニング (オンライン)	¥50,000~

導入の流れ

1. お問い合わせ・ヒアリング — チーム規模・対象サイト/アプリ・連携先を確認
2. 組織の作成・初期設定 — 組織 (テナント) を作成し、プランとメンバーを設定
3. Chrome 拡張の配布 — メンバーへ拡張機能を導入し、対象プロジェクトに接続
4. トレーニング — 投稿・プロジェクト管理・連携の操作レクチャー
5. 運用開始 — フィードバック投稿→AI 要約→課題化の本番運用、必要に応じて API 連携

本マニュアルについて

項目	内容
対象製品	FeedPort (フィードバック収集 SaaS)
対象読者	プロジェクト管理者および組織の管理者
前提	所有者または管理者アカウントでのログイン環境があること
推奨ブラウザ	Google Chrome 最新版
画面例のデータ	すべてサンプル (架空の「桜デザイン株式会社」)

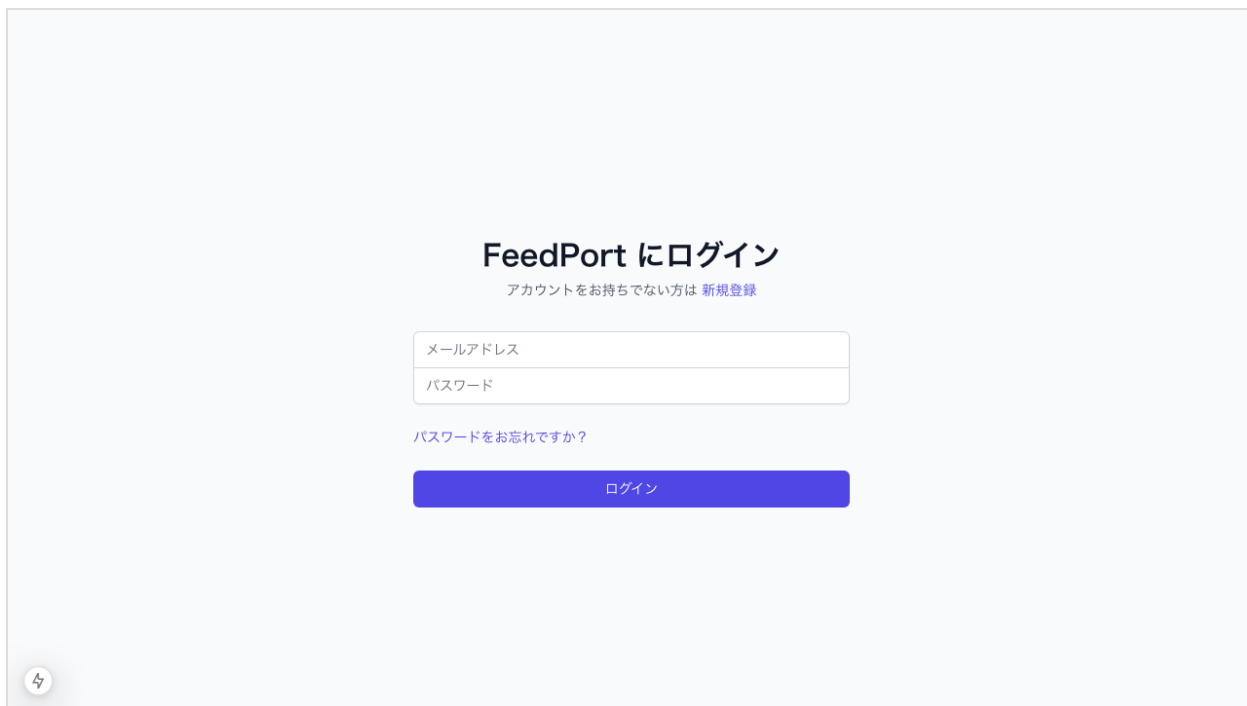
FeedPort は、フィードバックの収集・整理・連携を一元化するクラウドサービスです。本マニュアルでは、**Web 管理画面**でのログインから、プロジェクトの作成・管理、メンバーの招待までの操作手順を、画面例とともに順を追って説明します。

権限について：FeedPort には「所有者 / 管理者 / メンバー / クライアント」の権限があります。本マニュアルは原則として**所有者（または管理者）**の画面で説明します。権限により表示・操作できる範囲が異なる箇所には △ で注記します。

第1章 ログイン

1-1 ログインする

1. ブラウザで FeedPort のログインページを開きます。
2. メールアドレスとパスワードを入力します。
3. **〔ログイン〕** ボタンをクリックします。



ログイン画面

メールアドレスとパスワードを入力した状態です。内容を確認して **〔ログイン〕** をクリックします。

FeedPort にログイン

アカウントをお持ちでない方は [新規登録](#)

sato@sakura-design.jp

.....

[パスワードをお忘れですか?](#)

ログイン

4

ログイン情報の入力

ログインに成功すると、**ホーム画面**へ移動します。

△ パスワードは英字と数字を含む 8 文字以上です。メールアドレスまたはパスワードが正しくない場合は認証に失敗し、エラーが表示されます。

第2章 ホーム

ログイン直後に表示される画面です。ログイン中のユーザー名や所属組織などの情報を確認できます。ここから各機能へ移動します。



ホーム画面

第3章 プロジェクト管理

フィードバックはプロジェクト単位で管理します。サイトやアプリごとにプロジェクトを作成し、投稿を集約します。

3-1 プロジェクト一覧を確認する

所属組織のプロジェクトが一覧表示されます。各プロジェクトの名前・説明・ステータス（実行中／アーカイブ）を確認できます。

プロジェクト一覧

△ アーカイブ済みのプロジェクトは、一覧の表示切り替えで確認できます。

3-2 プロジェクトを新規作成する

1. 一覧右上の〔新規作成〕をクリックします。



新規作成ボタン

2. プロジェクト名・説明・AI処理モードを入力し、〔作成〕をクリックします。

プロジェクト作成フォーム

△ プロジェクトの作成は**所有者**または**管理者**のみ行えます。メンバー権限では〔新規作成〕は表示されません。AI処理モードは「オフ／自動／手動」から選べます。

3-3 プロジェクトの詳細を確認・編集する

一覧からプロジェクトを選ぶと、詳細画面が開きます。名前・説明・AI処理モードの編集や、アー

カイク・復元・削除ができます。



The screenshot shows a web interface for creating a new project. At the top left, there is a blue link labeled '← プロジェクト一覧'. Below it, the title '新規プロジェクト' is displayed in bold black text. The form itself is enclosed in a light gray border and contains the following elements: a text input field for 'プロジェクト名' with a red asterisk and placeholder text 'プロジェクト名を入力'; a larger text area for '説明' with placeholder text 'プロジェクトの説明を入力'; a dropdown menu for 'AI処理モード' currently set to 'オフ', with a sub-note '自動: フィードバック受信時に自動でAI分析を実行'; and a checkbox labeled 'プールからクレジットを自動補充'. At the bottom of the form are two buttons: a blue '作成' button and a white 'キャンセル' button. A small circular icon with a lightning bolt is located in the bottom left corner of the form area.

プロジェクト詳細

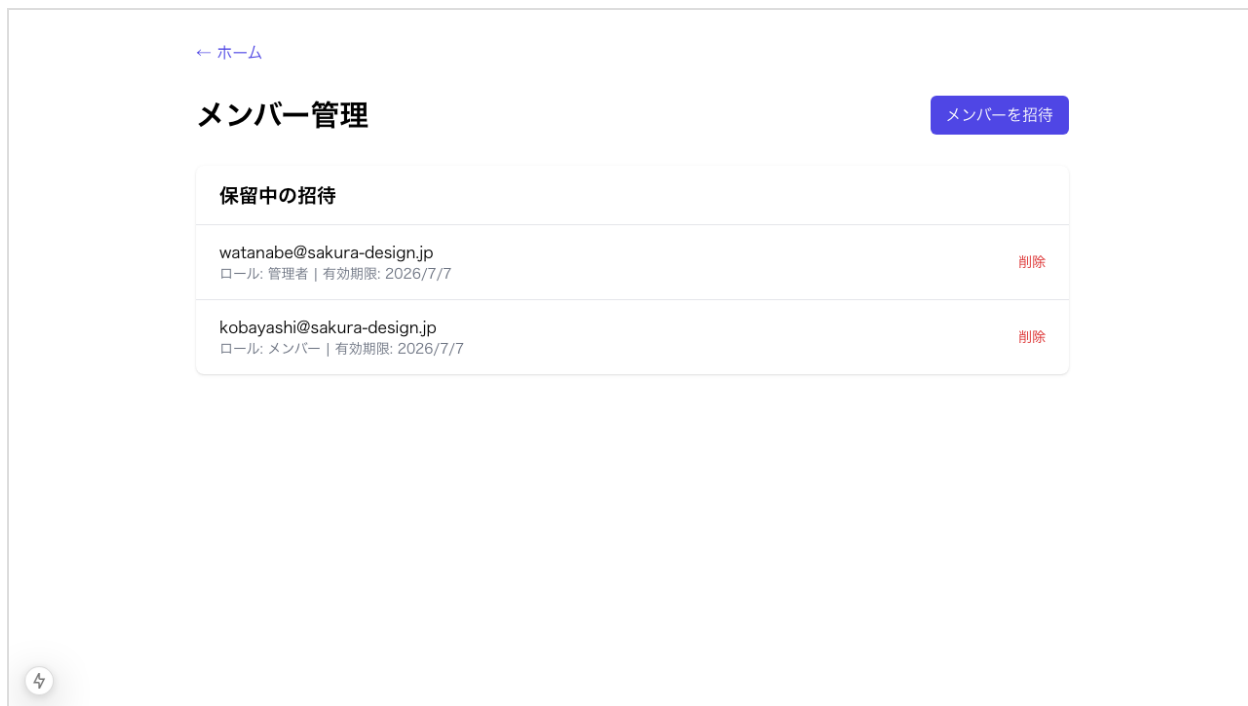
△ 削除など取り消せない操作の前には確認が表示されます。アーカイブしたプロジェクトは一覧から〔復元〕で戻せます。

第4章 メンバー管理

組織のメンバーを管理し、新しいメンバーを招待します。

4-1 メンバー一覧を確認する

〔設定〕>〔メンバー〕を開くと、組織に所属するメンバーと、保留中の招待が一覧表示されます。



メンバー管理画面

4-2 メンバーを招待する

メールアドレスとロール（管理者／メンバー）を指定して〔招待〕すると、招待リンクが発行されます。招待された人はリンクからアカウントを作成し、組織に参加します。

[← ホーム](#)

メンバー管理

メンバーを招待

保留中の招待

watanabe@sakura-design.jp
ロール: 管理者 | 有効期限: 2026/7/7

削除

kobayashi@sakura-design.jp
ロール: メンバー | 有効期限: 2026/7/7

削除



メンバーの招待

△ メンバーの招待・削除・ロール変更は**所有者**または**管理者**のみ行えます。招待には有効期限（既定 7 日）があります。

第5章 アカountの新規登録

組織をまだお持ちでない場合は、新規登録から組織と所有者アカウントを作成します。

新規登録画面

組織名・お名前・メールアドレス・パスワードを入力して登録すると、最初のユーザーが**所有者**として作成されます。以降は所有者がメンバーを招待してチームを構成します。

付録：権限による違い

権限	主な操作範囲
所有者 (owner)	全機能。プロジェクトの作成・削除、メンバー招待・ロール変更、組織設定
管理者 (admin)	所有者と同等の運用権限（プロジェクト管理・メンバー管理）
メンバー (member)	プロジェクトの閲覧・フィードバック対応が中心（作成・編集は不可）
クライアント (client)	フィードバックの提供のみ

本マニュアルの画面例で使用しているデータはすべてサンプルです。



フィードバック収集 SaaS **FeedPort**。

スクリーンショット・画面録画・エラー情報をワンクリックで投稿、

AIが再現手順を要約。**フィードバックを、開発の推進力に。**

Chrome拡張

スクリーンショット

画面録画

エラー自動収集

AI再現手順

プロジェクト管理

メンバー招待

GitHub連携

Jira連携

権限管理(RBAC)



オンラインデモはこちら

feedport.demo.link-grow.net

お問い合わせ

info@link-grow.net